

製品安全データシート

1 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	RC ガーデックス TS-60
会社名	日本躯体処理株式会社
住所	埼玉県川口市道合 262-1
担当部門	技術部・営業部
電話番号	048-229-7222
FAX 番号	048-229-7223
推奨用途及び使用上の制限	吸水防止剤

2 危険有害性の要約

GHS 分類	
健康に対する有害性	急性毒性（経口） 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
シラン化合物	55～65%	—	あり		あり
水	35～45%	—	非該当		7732-18-5

4 応急措置

皮膚に付着した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 水と石鹼で洗うこと。
目に入った場合	目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び又は毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 見えない蒸気が発火源に達し、逆火する。
特有の消火方法	消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収・中和	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉でき

る空容器に回収する。後で廃棄処理する。
 乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。
 物質を吸込み文は掃き取って廃棄用容器に入れること。
封じ込め及び浄化方法・機材 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
 危険でなければ漏れを止める。
 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。
 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。
 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避

飲み込みを避けること。

保管

技術的対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。
 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質 保管条件 容器包装材料

『10. 安定性及び反応性』を参照。

酸化剤から離して保管する。

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

消防法で規定されている容器を使用する。

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8 暴露防止及び保護措置

保護具

呼吸器の保護具

情報なし

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

液体(エマルジョン)

色

乳白色

引火点

引火せず

溶解性

水に分散。

10 安定性及び反応性

安定性

常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性

水との反応性はない。

避けるべき条件

5℃以下、40℃以上になる恐れのある場所での保管は避ける。

危険有害な分解生成物

燃焼等により CO、NOX 等の有害ガスが発生する恐れがある。

11 有害性情報

急性毒性

情報なし

12 環境影響情報

環境に対する有害性

情報なし

生態毒性

情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報

該当しない

海上規制情報

該当しない

国連番号

該当しない

海洋汚染物質

非該当

航空規制情報

該当しない

国連番号

該当しない

15 適用法令

消防法

非危険物

16 その他の情報

参考文献

- ・ 日本化学工業協会「製品安全性データシートの作成指針(改訂版)」
- ・ 日本産業衛生学会
- ・ ACGIH
- ・ IARC
- ・ RTECS
- ・ 既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

その他

*「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますので、使用原料の情報変更により本データシートの情報が変更される可能性があります。

*本データシートは、その製品を代表する値であり、安全や品質の保証、規格ではありません。本製品を取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。

*本データシートは日本国内法を基に作成しています。本製品及び本製品を含む化学物質を輸出する際には、外為法や輸出先国の法律に従った対応を必ず行ってください。尚、ご不明な場合は弊社までお問い合わせください。

製品安全データシート

1 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	RC ガーデックス TS-H
会社名	日本躯体処理株式会社
住所	埼玉県川口市道合 262-1
担当部門	技術部・営業部
電話番号	048-229-7222
FAX 番号	048-229-7223
推奨用途及び使用上の制限	シラン系乳化物

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口） 区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 区分外 水生環境慢性有害性 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
水	65～75%		非該当		7732-18-5
シラン化合物	25～35%		あり		

4 応急措置

皮膚に付着した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 水と石鹼で洗うこと。
目に入った場合	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び又は毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	関係者以外の立入りを禁とする。 作業者は適切な保護具（『8・ばく露防と措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。

回収・中和	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。 物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。 危険でなければ漏れをとめる。 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
取扱い後はよく手を洗うこと。
飲み込みを避けること。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質 保管条件 容器包装材料

『10. 安定性及び反応性』を参照。
酸化剤から離して保管する。
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
消防法で規定されている容器を使用する。
国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8 暴露防止及び保護措置

保護具

呼吸器の保護具

情報なし

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

液体(エマルジョン)

色

乳白色

引火点

引火せず

溶解性

水に可溶、有機溶剤に不溶

10 安定性及び反応性

安定性

常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性

水との反応性はない。

避けるべき条件

高温。

危険有害な分解生成物

燃焼等により CO、NOX 等の有害ガスが発生する恐れがある。

その他

5°C以下、40°C以上になる恐れのある場所での保管は避ける。

11 有害性情報

急性毒性

情報なし

12 環境影響情報

環境に対する有害性

情報なし

生態毒性

情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報

該当しない

海上規制情報

該当しない

国連番号

該当しない

海洋汚染物質

非該当

航空規制情報

該当しない

国連番号

該当しない

15 適用法令

消防法

非危険物

16 その他の情報

参考文献

- ・日本化学工業協会「製品安全性データシートの作成指針(改訂版)」
- ・日本産業衛生学会
- ・ACGIH
- ・IARC
- ・RTECS
- ・既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

その他

- *「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますので、使用原料の情報変更により本データシートの情報が変更される可能性があります。
- *本データシートは、その製品を代表する値であり、安全や品質の保証、規格ではありません。本製品を取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。
- *本データシートは日本国内法を基に作成しています。本製品及び本製品を含む化学物質を輸出する際には、外為法や輸出先国の法律に従った対応を必ず行ってください。尚、ご不明な場合は弊社までお問い合わせください。